

## 新発田市 令和5年度 第5回定例記者会見

1 日 時 令和5年7月31日(月)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

### 【市長発表項目】

- タイへのトップセールス【新発田牛の販路拡大、インバウンド誘客の推進】  
タイに対する新発田牛の販路拡大や、当市へのインバウンド誘客の促進に向けて実施するトップセールスについてPRしたい。
- 富樫勇樹選手 新発田市スポーツ大使の任命更新について  
当市出身のスーパースターである富樫選手の新発田市スポーツ大使の任命更新により、市を盛り上げていく取組を周知したい。
- 富樫勇樹選手 ミニバスケットボールクリニックの開催について  
富樫選手を招聘したイベントの開催により、新発田の子ども達に夢と希望を与え、まちを元気にする取組をPRしたい。
- 法政大学応援団の合宿誘致、及び成果発表会について  
取り組んできた合宿誘致について、トップセールスの成果をPRし、目にする機会が少ない大学応援団のパフォーマンスイベントを周知したい。
- 「こどもまんなか応援サポーター」宣言をします  
「子育てするならやっぱり新発田」の取組を外部に対しより鮮明にし、その取組を一層推進したいという市の姿勢を示す宣言を周知したい。

### 【その他】

- 「新発田市文化財保存活用地域計画」の認定
- 令和5年度奨学金返還支援補助金申請受付の開始
- 昔がたり in 蔵春閣～新発田の方言による昔がたりを蔵春閣で～
- ツキノワグマ出没対応訓練の実施
- 「しばた平和のつどい」開催
- 令和5年度高校音楽祭
- 不動産フェア

## あいさつ

- 梅雨が明けたと思ったら、すぐに夏本番が来ました。菅谷では、こういうときの表現は暑いと言わず、あちえと言います。あちえ夏だとか、あっちえもんだと言うのですが、まさに暑い夏という表現ではなく、むしろ方言のあちえっといった方がいいぐらいの天気が続いています。しかし考えてみれば、これが夏らしいわけで、このらしさというのはとても大事なことであります。日本は四季折々にそのらしさを持っている国ですから、春は桜を愛で、夏は水辺で涼をとり、秋は紅葉を狩り、冬を越えて次の年を迎えるというらしさがあるわけです。
  
- コロナがようやく5類に移行し、新発田祭を新発田らしい祭にしたいということで、無制限で開催することにしました。ただ、昨年8月3日・4日に水害が発生しましたし、古くは8・28水害がありました。このような8月らしさもありません。そういうらしさは欲しくはないわけでありまして、災害のない8月にして、そして新発田らしい新発田祭にしたいと考えているところであります。

それでは、会見項目を説明いたします。

最初に、新発田牛<sup>うし</sup>の販路拡大及びインバウンド誘客の推進に向けた、タイへのトップセールスについてです。

- 新発田牛<sup>うし</sup>は、令和3年度に県内2例目のブランド牛<sup>ぎゅう</sup>として登録され、目下、知名度向上<sup>もっか</sup>を目指し、販売促進を実施しておりますが、後発のブランド牛<sup>ぎゅう</sup>は、国内販売では厳しい戦いになると想定し、海外輸出についても、当初から戦略の一つとして進めてまいりました。
- 昨年度はニューヨーク市場へ定期的に輸出する販路が開拓できましたので、新たな輸出先を検討していたところ、近年、富裕層を中心に和牛の人気の高まりという、タイにご縁があり、新たなチャレンジ先に決定いたしました。昨年度末には、テストマーケティングを実施し、いくつかの店舗で好感触をいただきましたので、更なる店舗数の獲得を目指し、セールスに行つてまいります。
- 当日は現地で日本博が開催中でありますので、新発田牛<sup>うし</sup>を中心に「新発田」を大々的にPRし、飲食店や小売店に強いコネクションを持つ、現地商社との商談も行うことで、ニューヨークに続く新たな輸出先となるよう期待しているところであります。
- また、インバウンドの誘客推進であります。今年の夏にタイと新潟の直行便について、県でも誘致を進めてまいりましたが、残念ながら今年の運航はかないませんでした。しかし、近いうちに必ずや新たな航路の検討が進められると思っております。現在、当市は台湾や香港など、他国の旅行エージェンツにもPRを進めているところであり、今回、タイへも、新発田の情報をいち早く売り込み、しっかりと先手を打って備えたいと思っております。
- せっかく遠くまで行くのですから、私も手土産一つでは面白くありません。新発田牛<sup>うし</sup>の定期的な契約と、当市への宿泊を伴った旅行プランの確約を取り付けられるよう頑張つてまいります。

○それから、報道各社の皆様へお願いがあります。今年の2月にベトナムへ米輸出の関係でトップセールスに行った際は、NSTさんに帯同いただき、広く県民の皆様に、当市の活動が周知でき、現地での営業活動にも良い影響を与えてくれました。今回も私どもと一緒に、タイへ取材に来ていただける会社はおられませんでしょうか。タイの人々、そして経済の熱気を共に味わいたいと願っております。

**次に、富樫勇樹選手の新発田市スポーツ大使の任命更新についてです。**

○この度、当市出身のプロバスケットボール選手で B リーグや日本代表で活躍している富樫勇樹選手に、引き続き「新発田市スポーツ大使」を委嘱いたしました。

○任期は令和5年7月12日から令和7年7月11日までの2年間となります。

○富樫選手には、2019年から当市のスポーツ大使を引き受けていただいておりますが、この度の任期更新の打診に対しても快くご承諾をいただき、遠く離れた場所においても、ふるさと「新発田」に愛着を持っていただいていることに対し、市長として大変嬉しく思っております。

○この夏には、来年開催されるパリオリンピックの出場権をかけた、バスケットボールのワールドカップが開催されます。ぜひ、日本代表の一員として活躍していただきたいと思えますし、パリオリンピックの出場権を獲得して、来年の夏、フランス・パリの地でも輝きを放ち、多くの新発田市民に夢と元気を届けてほしいと期待しております。

○そして、次の会見項目にもありますが、9月14日(木)に富樫選手を当市に招聘し、市内のミニバスケットボールチームの選手を指導してもらうイベントを企画いたしました。その際、あらためて、スポーツ大使委嘱のセレモニーなども計画しております。ぜひ、多くの皆さんに会場へ足を運んでいただき、富樫選手に声援を送っていただきたいと思えます。

**次に、富樫勇樹選手によるミニバスケットボールクリニックの開催についてです。**

- 今ほどご案内のとおり、新発田市スポーツ大使の富樫勇樹選手を招聘し、市内ミニバスケットボールチームの選手を直接指導するクリニックを新発田市カルチャーセンターで開催いたします。
- 土・日の開催を計画し、富樫選手にゆっくりと帰郷してもらおう予定でしたが、日本代表活動の直後、また、Bリーグ開幕前ということもあり、スケジュールの調整がつかず、止む無く平日開催といたしました。富樫選手にはコンディションを整える大切な時期にも関わらず、ふるさと「新発田」のために招聘に応じていただき心から感謝しております。
- クリニックへの参加は、新発田のミニバスケットボールチームの選手に限定いたしますが、2階観覧席からは、どなたでも自由にご観覧いただけます。ぜひ、多くの皆様に会場へ足を運んでいただくとともに、新発田が生んだ日本バスケットボール界のスーパースター富樫勇樹選手の姿を間近で見て、温かい声援を送っていただきたいと思っております。
- また、事業の開催に先立ち、スポーツ大使就任のセレモニー、そして、事業終盤には、ご来場された皆様も対象にしたファンサービスなども計画しておりますので、これらも併せてお楽しみください。
- そして、終了後には、富樫勇樹選手への「記者会見」も予定しております。普段は直接お話しできる機会はないかと思っておりますので、ぜひ報道各社におかれましては、記者会見にもご参加いただき、新発田市スポーツ大使 富樫 勇樹選手を広く報道で取り上げていただき、多くの市民・県民の皆様にも明るい話題を届けていただきたいと思っております。

## 次に、法政大学応援団の合宿誘致、及び成果発表会についてです。

- 数年前から、スポーツ・カルチャーツーリズムによる県外団体の本市への合宿誘致として、法政大学応援団さんにアプローチをしておりました。先日、私がトップセールスを行い、法政大学応援団の監督にお会いする機会をいただき、コロナ禍により、延び延びとなっておりました合宿誘致が、ようやく実現することとなりました。
- 東京六大学野球の構成大学の一つでもある法政大学応援団は、リーダー部、吹奏楽部、チアリーディング部の三部で構成されており、総勢約100人の部員がおります。「礼儀・節度・闘志」を三原則に掲げ、90年以上伝統を守り続けております。
- 主な活動では、東京六大学野球をはじめ、箱根駅伝、関東学生アメリカンフットボールなど、体育会からの依頼により、それぞれ出場する選手を応援しているところであります。
- 合宿は、8月29日から9月6日まで、8泊9日の日程で行い、市内の体育施設などで練習し、宿泊も市内でさせていただきます。
- 合宿中の9月3日(日)には、市民文化会館で地域の皆様に向け、日頃の練習の成果を発表していただけることになりました。普段なかなか見ることのできない応援団のパフォーマンスです。入場無料ですので、ぜひこの機会にお越しく下さい。

## 最後に、「こどもまんなか応援サポーター」宣言についてです。

- 国のこども家庭庁では、企業・個人・地方自治体などが「こどもまんなか応援サポーター」となって、自身が考える「こどもまんなか」なアクションを展開する「こどもまんなか応援プロジェクト」を5月から開始しております。
- 当市がこれまで進めてきた、「子育てするならやっぱり新発田」の取組は、まさに、この「こどもまんなか」なアクションであることから、この度、「こどもまんなか社会」の趣旨に共感・賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」になることを宣言いたします。
- 宣言の内容は、3点であります。
- 1点目は、「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、「こどもまんなか応援サポーター」に就任します。
- 2点目は、当市のこれまでの「子育てするならやっぱり新発田」の取組を更に推進してまいります。主な取組は、「子どもや妊産婦医療等の健康に関する支援制度の充実」、「公立園及び私立園における保育の充実」、「県内他自治体に先がけて設置した「こども家庭センター」における子育て世代へのサポート」などであります。
- 3点目は、市民の皆様や企業など、幅広い方々に市のSNS等において「こどもまんなか」な取組の発信や参加を呼びかけてまいります。
- この宣言に基づき、安心して子どもを産み、育てられるまち。誰もがそう思えるよう、すべてのこどもの幸せの実現に向けて、地域全体で子どもたちの成長を見守り、時には手を取りながら、子どもと子育て家庭を支援していくまちづくりを、一層推進してまいります。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりにイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。